

シュリー・ガネーシュ・ウトウサヴァを祝って 2018年9月12日～9月23日

ガネーシュ・ウトウサヴァは、インド文化の中で最も愛されている神の一人であり、障害を取り除き新しい始まりの神として知られているガネーシュ神にささげられた祭礼です。この祭礼はインド中の多くの場所で、特にマハーラーシュトラ、タミルナド、アンドラプラデシュ、テランガーナの各州で祝われています。言い伝えによると、この祭礼は、賢人ヴァーサが叙事詩『マハーバーラタ』を語り、ガネーシュ神がそれを彼の牙で書き記した期間を記念したものです。

今年は、ガネーシュ・チャトゥルティ（9月12日*）にそのお祝いが始まります。この日、それぞれの家庭ではガネーシュ神の像を家に迎え入れ、その神性と彼が象徴する英知、理解、そして識別といった資質を家の中に招きます。人々は祭礼の間、毎日ガネーシュ神にプージャーをささげ、これから先の1年への祝福を祈願します。最終日、アナントウ・チャトゥルダシー（9月23日）には、ガネーシュ神の像が、海、湖、川などの水辺に運ばれます。その行列は喜びあふれる踊りと歌と共に進みます。そして、ガネーシュ神を水の中に沈め、人々は別れのあいさつを叫びます。「*Ganapati b1pp1 Moray1, pu2hacy1 varshi lavakar y1!* ガナパティーパーッパ モーラヤー、プダチャー ヴァルシー ラヴァカル ヤー！」—— マラティ語で「シュリー・ガネーシュ万歳！ 来年すぐに帰って来てください！」という意味です。その儀式は再生を象徴しています。ガネーシュ神は出発しなければなりません、必ず再び戻って来ます。

*インドでは、ガネーシュ・チャトゥルティは2018年9月13日にお祝います。

